

ぼんぼり山便り

毎月第一土曜日、第三日曜日 10時～15時位に活動をしております。

第24回定例活動の報告

(4月19日 第三日曜日)

参加者 18名

目覚めた時、天気が気になり耳をすます。どうやら雨は降っていないようようで一安心。

雲は広がっているがところどころ明るい空模様、設立一周年記念の行事のために一日繰り上げた活動日、なんとか午前中だけでも降らないで欲しいと願う。

・車窓から眺める沿線の景色も季節とともに変わりつつある。新緑が目にも優しく美しい。また、色々な花が競って咲き始めたよう。中の森のしだれ桜も咲いているか楽しみ…。

今日は、作業の終了後「みなと区民の森」を見学後、記念旅行に向かうことになっている。

【除伐班】

先月に引き続き、中の森の間伐とボサ刈りを予定としていた。

この日は、この山の持ち主の息子さんに立ち会っていただき、下4分の1程のヒノキエリアの除伐にあたっての希望を伺った。曲がり木や二股に分かれている木は伐つてもよいが、細くてもまっすぐな木は残してほしいとのことだったので、この方針に従って作業を進めることにした。



〔下段へつづく〕

・先月の枝打ちで、すっかり見やすくなったヒノキの森は、二股に分かれている木がよく目立ち、まずはこれから片付けようということになった。ここは一度も手が入ってないで、未だ等間隔に植えてあり、たとえ木が細くとも、立ち枯れの木以外は枝葉がついているので、

除伐対象の木、全てにロープをかけないと倒れてくれなかった。

・倒す方向も、二股に分かれています、どちらの幹の方に重心がかかっているかもわかりにくかったが、ロープのおかげでなんとか15本程倒した。

・木の太さから、全部手鋸で作業したが、前日の冷たい雨とは裏腹に急な日差し眩しい晴天となり、鋸をひく腕は体力の消耗との戦いだった。



しかし、除伐後の上には空いた空からは、太陽の光が地面にしっかりと届き、明るい森へと変化していく様子がその度わかり、手こたえは充分だった。

しかし、除伐後の上には空いた空からは、太陽の光が地面にしっかりと届き、明るい森へと変化していく様子がその度わかり、手こたえは充分だった。

【ボサ刈り班】

・今回が2回目のボサ刈。人手が入っていなかった分、一回実施しただけでも既にその効果が目に見えている。木のように大きく育ってしまったアオキなどの雑木伐り藪を切り開いていく。併せて倒木を片付けていくと、どんどん視界が広がっていき林床にも陽射しが届き森全体が明るくなっていくのがわかり気持ちがいい。

・その他、山の上まで視察に行った仲間からの報告では、急斜面から尾根までは雑木林なので手入れはいらぬのではとの報告があり、息子さんにも伝え雑木林部分については手入れはしない方向で進めることにした。

〔お隣さんのスギの伐採〕

・お隣さんから、家の裏手にあり屋根に覆いかぶさるような形になっているスギの伐採の依頼を受け、4人ほどSDの仲間が取組んだ。

まずはスギと蔓が絡み合った



手前の木を伐り梯子をかけて上り、スギからんだ蔓や枝を落とし、最後は家の屋根にかからないようにロープをかけて引き倒し、無事に作業完了。これで雨樋に落ち葉が詰まるようなことはなくなるでしょう。

山便り ぼんぼり

<http://members2.jcom.home.ne.jp/bonbori/>

活動報告の詳細等は、ホームページへ...

第25回定期活動の報告

(5月3日 第一土曜日)

参加者 21名

今日の参加者は、「間伐が○○の削減に有効というが、間伐とはどんなものか実際に間伐の体験をしてみたい」とホームページを調べて来てくれた人を含めて21名、連休中、雨降り、そんななかよく参加してくれました。感謝です!!

雨が降り止みそうもないので、安全を考慮しチェンソーによる除伐・間伐は止めとし、活動拠点右側の広がる森のボサ刈、森の中に作業用通路を設ける作業などを中心に活動を行なうことにした。また、顧問と一緒に活動拠点右側の整備を行なう境界の確認も行なうことになっている。

【境界の確認】

整備作業の進展にともない、再度、整備の了承が得られている境界を再確認するため、地元顧問の方と一緒に現場に赴いて確認し、その基点となる部分にロープを張り明確にわかるようにした。下から尾根まで続く小道の左側の森が整備する対象ということで非常にはっきりしているのが安心して作業が進められる。尚、竹林の下部と上部では持ち主さんが異なる扱い方も違いがあるため、ここもロープを張って明確にした。



【ボサ刈】

10人を超える参加者が横に展開し下から刈り上げていく。ここもアオキ、カシ類が多く、何年も人手が入っていないからなのである。落葉樹は残すこと、空間が空きすぎている所は常緑樹でも残すことを基本に作業を進める。森の中に入っていると雨の方はあまり気にならないが伐採しようとする木の葉に溜まっていた水滴が落ちてきて結局のところ濡れることに。

11時過ぎ、雨足が強くなり一時作業を中断しウッドデッキにブルーシートで屋根を掛け雨をしのぎながら休憩。しかし、いつこうに降り止みそうもないので、早めの昼食をとる事に変更。雨のため汁物作りは取り止めの方向であったが、筍、葉物の差し入れをいただいた事から予定を変更、味噌汁作られ振舞われた。雨で冷えた体に温かい味噌汁はご馳走であった。



10人を超える人数で取組んだこともあり、全く奥の様子が見えなかったのが、この日の活動が終えた時点では、森の奥から活動拠点が見えるようになった。一日の成果がすぐに現れ自らの目で確認でき、達成感として味わえるのがボサ刈の良いところといえるかも。

【作業道整備】

基地周辺整備部隊が森林内に作業用通路を作る作業にとりかかった。林床が整備されるとどこでも通行ができるようになり、その結果として林床が荒らされてしまう恐れがある。作業道が整備されれば森の中の移動が楽になるとともに、林床を荒らすことが防げ一石二鳥だ。まずは基地の物置小屋の裏から斜面を上がついていく階段を作り、そこから森の中をつづら折れに上っていくようにする計画とか。今日の終わりには、作業道の最初の部分、階段が姿を現した。除伐・間伐材も生かせるし、この先が楽しみだ。



「ご馳走様でした」
：掃りに掘りたての筍、ゆでた筍を沢山いただきました。我が家でも色々な料理に加えて美味しくいただきました。ありがとうございます。